

2018年2月6日

東京国立近代美術館フィルムセンター

東京国立近代美術館フィルムセンターが、独立行政法人国立美術館の6番目の組織へ
 我が国唯一の国立の映画専門機関として映画の収集・保存・活用を一体的に強化

2018年4月に「国立映画アーカイブ」を設置

東京国立近代美術館フィルムセンターは、2018年4月、独立行政法人国立美術館の映画専門機関「国立映画アーカイブ」として新たな位置づけで設置されます。

これまでも映画の収集・保存・公開・活用を行ってきましたが、今回、他の国立美術館と同格の機関として改組し、「映画を残す、映画を活かす。」をミッションとして、我が国の映画文化振興のためのナショナルセンターとして一層の機能強化を進めていきます。

また広く外部から助言を得るためのアドバイザーを設け、産官学の関係者やアドバイザーから成る戦略会議（仮）等の体制も整えることで組織の基盤強化も進めます。

独立行政法人国立美術館 国立映画アーカイブ 概要

- ◆名称：国立映画アーカイブ
 英語名称：National Film Archive of Japan（略称 NFAJ）
- ◆設置年月日：2018年4月1日
- ◆館長(予定者)：岡島尚志（おかじま ひさし）
 現職：東京国立近代美術館フィルムセンター 特定研究員
 生年月日：昭和31年10月3日生（61歳）
 専門分野：映画史、映画保存、フィルムアーカイブ研究
 略歴：昭和54年4月 東京国立近代美術館フィルムセンター研究員
 平成17年4月 同 主幹
 平成21年～23年 国際フィルムアーカイブ連盟（FIAF）第12代会長
- ◆ミッション：映画を残す、映画を活かす。
- ◆URL：<http://www.nfaj.go.jp/>

◆ロゴ：

作者 鈴木一誌



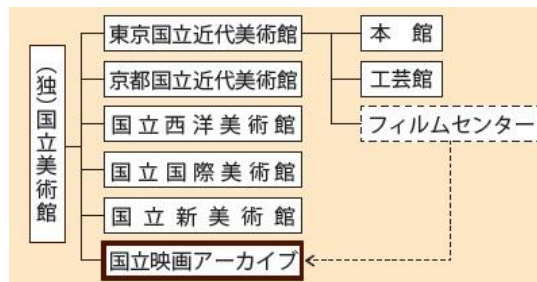
◆先付け映像：

作者 山村浩二



◆独立後の体制

フィルムセンターを他の国立美術館と同格の機関「国立映画アーカイブ」に改組し、我が国の映画文化振興のためのナショナルセンターへ



●広く外部から助言を得る体制

映画界：アドバイザー(8人)

- 岡田裕介氏 (一般社団法人日本映画製作者連盟会長)
- 奥田瑛二氏 (俳優・映画監督)
- 河瀬直美氏 (映画監督。フランス芸術文化勲章受章者)
- 新藤次郎氏 (一般社団法人日本映画製作者協会代表理事)
- 長瀬文男氏 (株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス代表取締役会長)
- 堀越謙三氏 (東京藝術大学名誉教授。フランス芸術文化勲章、川喜多賞受賞者)
- 松坂慶子氏 (俳優・紫綬褒章受賞者)
- 山田洋次氏 (映画監督。文化勲章受章者、文化功労者、日本芸術院会員)

機能強化会議(仮)：産官学関係者、アドバイザー

●基盤：民間資金を活用

◆ナショナルセンターとしての強化

●3本の柱を核に収集・保存・公開・活用を一本化

1. 映画を保存・公開する拠点

- ：保存・復元・上映・展示
- ⇒映画博物館の魅力ある入口へ
- ⇒上映・展示、地域連携

2. 映画の文化・芸術振興拠点

- ：教育・普及
- ⇒新進的映画への支援
- ⇒若手クリエイター等支援

3. 映画による国際交流拠点

- ：FIAF機関との国際連携・協力
- ⇒国内外への配信
- ⇒多様な観客に日本映画の鑑賞機会を提供

●大ホールを「長瀬記念ホール OZU」と改称。

●幅広く多くの人たちに向けて、監督別や国別、ジャンル別など様々なテーマによる上映会や、映画史上の名作を鑑賞する上映会、映画を学ぶ人たちに向けた上映会、親子向け上映会を実施。



具体的な事業 詳細は年間カレンダー、HP等をご覧ください。

補足資料

ロゴ作者：鈴木一誌

ブックデザイナー、グラフィックデザイナー、映画批評家。杉浦康平のアシスタントを経て独立。戸田ツトムとともに2001年よりデザイン批評誌『d/SIGN』を責任編集し、共編含めた著書に『画面の誕生』(みすず書房、2002年)、『1969 新宿西口地下広場』(2014年)、『デザインの種』(2015年)、『絶対平面都市』(2016年)など多数あり。神戸芸術工科大学客員教授。

先付け映像作者：山村浩二

アニメーション作家・絵本作家。2002年に『頭山』が世界のアニメーション映画祭で数々のグランプリを受賞し、その後も各国のアニメーション映画祭で多くのグランプリを受賞。文化庁メディア芸術祭優秀賞5回受賞など、国内外で90以上の賞を受賞している。映画芸術科学アカデミー会員、日本アニメーション協会副会長、東京造形大学客員教授、東京藝術大学教授。

東京国立近代美術館フィルムセンター (事業推進室：富田・碓井・高林)

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 電話：03-3561-0823 FAX：03-3561-0830 E-mail：nfaj-pr@momat.go.jp